



行政自治会だより

令和7年12月1日発行

第42号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 小川 久雄

令和7年度 地区長・副地区長視察研修（そなエリア東京）

令和7年6月26日（木）、地区長・副地区長の皆さんと一緒に「東京臨海広域防災公園（そなエリア東京）」へ見学・体験に行っていました。普段なかなか触れる機会のない防災施設を実際に見学することで、防災への意識が一層高まり、有意義な時間となりました。

○研修の目的

東京臨海広域防災公園は、災害時の広域的な防災拠点として整備された施設です。地震や津波、火災などの災害に備えた設備や訓練施設が充実しており、地域住民の安全を守るための重要な役割を担っています。今回の研修は、災害時の備えや防災意識の向上を目的として企画されました。

○研修内容のポイント

防災体験ゾーンは実際の災害を想定した体験ができるエリアで、地震の揺れを再現したり、煙の中を避難する訓練を体験しました。普段の生活では味わえないリアルな状況を体感でき、防災の重要性を実感しました。

○防災設備の見学

大型の防災倉庫や緊急物資の備蓄状況、災害用トイレや給水設備など、災害時に必要となる設備を詳しく説明していただきました。これらの設備が地域の安全を支えていることを知り、安心感が増しました。

○防災講話

専門のスタッフによる防災講話もあり、災害時の行動指針や日頃からできる備えについて学びました。特に、家族での連絡方法や避難場所の確認が大切だと改めて認識しました。

○研修を終えて

今回の研修を通じて、防災への理解が深まりました。災害はいつ起こるかわかりませんが、日頃の備えと地域での連携が命を守る鍵であると感じました。今後も自治会として防災活動に積極的に取り組み、地域の安全・安心を守ってまいります。

防災は自分たちの生活を守る大切なテーマです。皆さんもぜひ機会があれば「東京臨海広域防災公園」を訪れて、防災について考えるきっかけにしてみてください。（広報委員 秋山 和彦）



第16回行政自治会親善ソフトボール大会

令和7年6月1日（日）、第16回行政自治会親善ソフトボール大会が行われました。会場はチャレンジ部門が幸土上大野グラウンドで、エンジョイ部門が渡良瀬河川敷のリバーフィールド古河の2か所で行われました。日中は天候に恵まれ、楽しいスポーツの1日となりました。（広報委員 関 一郎）



渡良瀬河川敷のリバーフィールド古河

●大会結果（優勝チーム）

チャレンジ部門 （男子） 参加13チーム	A：諸川松原		B：上辺見南町	
	C：関戸		D：下大野	
エンジョイ部門 （男女混合） 参加21チーム	A：下三		B：けやき平	
	C：原		D：下尾崎一	
	E：雷電二丁目		F：下山一丁目	

第16回行政自治会親善バレーボール大会

令和7年8月24日（日）、第16回行政自治会親善バレーボール大会が行われました。競技種目は2種類となり9人制バレーボールと4人制ソフトバレーボールに分かれ、それぞれ熱い戦いを展開しました。（広報委員 関 一郎）



9人制バレーボール 優秀賞チーム

分類	ブロック	優秀賞チーム	チーム数
男子の部	Aブロック	上大野行政区	4チーム
	Bブロック	大堤行政区	3チーム
女子の部		女沼行政区	4チーム

4人制ソフトバレーボール 優秀賞チーム

分類	ブロック	優秀賞チーム	チーム数
シルバーの部	Aブロック	下大野行政区 A	5チーム
	Bブロック	駒羽根住宅団地A	4チーム
フリーの部	Cブロック	仁連御辺行政区B	7チーム
	Dブロック	諸川東西松原行政区B	7チーム
	Eブロック	けやき平自治会	7チーム
	Fブロック	諸川上町・中央町行政区	7チーム

ビオトープKOGA 夜の昆虫観察会



参加者は子ども128名、保護者84名の212名となり、大盛況でした

令和7年7月11日（金）、日野自動車（株）古河工場で夜の昆虫観察会が開催されました。古河工場と周辺地域には、貴重な交流の場として素晴らしい自然が広がっていることや、様々な生き物がいることを、学びにつなげてほしいと感じました。

内容 ①社員食堂での食事（希望者）

②ラグビー体験コーナー・昆虫の持ち方

③池にセキショウやイエグサを植栽

④昆虫採集・環境エコ工作 ⑤ライトアップ昆虫観察会

参加者からは「子ども達も普段では味わえない体験をととても楽しんでいました」「日野自動車は自然を大切にする会社なんだと思いました」という感想をいただきました。

今後も昆虫観察会を継続していくことで、古河工場と地域との結びつきをより強いものにしていきたいと思います。（広報委員 永井 行男）

下尾崎一・下尾崎二行政区合同夏祭り

令和7年7月20日（日）、下尾崎一・下尾崎二行政区合同夏祭りが開催されました。子供神輿、大人神輿（下尾崎神輿会・中学生）、お囃子（下尾崎囃子会・中学生）、ゲームコーナー、お菓子まき、抽選会が盛大に行われ、祭りの様子は古河ケーブルテレビで7月27日（日）に一挙放送されました。

①夏祭りを通して地域住民の連帯意識と地域に対する誇り、愛着を育む。

②小学生・中学生・若者がたくさん集まることで地域の良さを知るきっかけと郷土愛を高める。

下尾崎夏祭りは地域住民同士をつなげ、交流・絆を深めて、より持続可能で、より魅力的、そして活力のあるものになるということを実感しました。（広報委員 永井 行男）



今年から小学生31名、中学生6名も参加し、下尾崎コミュニティ公園にて開催

光陽台ボウリング大会

令和7年8月3日（日）、栗橋ラウンドワンにて光陽台ボウリング大会が幼児をはじめ総勢20名の参加で行われました。小林自治会長によれば、大会は過去5、6回開催され、3世代交流を目的に、お盆前後に行われており、来年も予定しているとのことでした。

参加者で最年少は里緒ちゃん（5才）、里茉ちゃん（5才）で、3回目のボウリングだそうです。里緒ちゃんは、「おもしろかった、また、やりたいです」とのことでした。優勝者の相沢さんは、今回が2回目の参加でスコアは136と146。「来年もまたやりたい」とのことでした。参加者全員が楽しくボウリングに興じていました。

（広報委員 小野 等）



ゲームを楽しむ里緒ちゃん

第25回久能せせらぎ納涼祭



友情出演「久能お囃子の会」ご一同様

令和7年9月14日（日）、恒例の納涼祭が開催されました。昨年は終了間際に雨に祟られ大慌てをしましたが「雨降って地固まる」の例え通り、今年は天候にも恵まれ無事にフィナーレを迎える事が出来ました。和太鼓、お囃子に依る演舞等でムードを演出、射的・人形搦い・輪投げ等の定番イベントにキッチンカーや「行政区名物 yakisoba」でのお・も・



イベントは大賑わい

て・な・し、最後は大抽選会で幕を下ろし、ご来場頂いた方々に楽しい一時をお過ごし頂きました。沢山の方々の笑顔に出会えました事、関係者一同、心から感謝申し上げます。

（広報委員 湯本 亨）

第13地区地域防災勉強会

令和7年9月14日（日）、共和電設とねミドリ館にて第13地区地域防災勉強会（大地震から命を守るために）が針谷市長をお迎えし開催されました。

最初に、能登半島地震及び9月の水害から復興支援を続けている NPO 法人オープンジャパン様から能登町での支援活動について写真を見ながら具体的な話をいただき勉強になりました。次に、古河市消防防災課の石井防災監より想定される大地震に関する「チェックリスト」や「寝室を安全な場所にする」ための注意点、懐中電灯などの準備すべき物の説明があり参考になりました。

また、古河市消防団第15分団・16分団より、日頃の活動についての説明や団員不足の現状、非常袋について現物を見せながら説明があり、終了後には放水実演を体験しました。そのほか、避難所で役立つ「ポリ袋で炊くご飯」の体験用プレゼントもありました。今回は水海小学校、釈迦小学校の児童や教頭先生など約170名にご参加いただき有意義な1日となりました。

（広報委員 鎌仲 英俊）



市内歴史散歩（第33回）

たか み せんせき
「鷹見泉石」

鷹見泉石（以下「泉石」という。）は、天明5年（1785年）6月29日に古河藩御使番鷹見忠徳の長男として、古河城下の四軒町屋敷内（現古河第一小学校）に誕生しました。寛政8年（1796年）、12歳の時に江戸藩邸に移住し、幕府老中土井利厚、そして雪の殿さまで知られる土井利位に仕えるようになります。藩のなかでは、寛政9年に調役給仕として出仕して以降、大小姓、小納戸格取次を経て、父亡き後は、公用人、番頭格などをつとめ、47歳で家老に昇進しています。

泉石は、家老として藩主を補佐する立場から、蘭学者・オランダ通詞・オランダ商館・漂流民・医師・学問・芸術にたけた人々と交流し、必要な情報収集をすることで、幕政・藩政を陰で支えてきました。

天保4年（1833年）、土井利位が大坂城代に任じられると、泉石はともに大坂に赴きます。藩主が大坂城代をつとめるこの時代、大坂では大事件が勃発します。同8年、大坂町奉行所の元与力をしていた大塩平八郎が、幕府に対して反乱をおこします。世に言う大塩平八郎の乱です。この反乱において陣頭指揮をとったのが泉石で、彼は潜伏する大塩平八郎を捕縛した功績により利位の直書と小刀を頂戴しました。渡辺華山が描く肖像画の名品、国宝「鷹見泉石像」（東京国立博物館所蔵）は、後日、大塩平八郎の報告のため、土

井家菩提寺に代参した際、描いてもらったものと伝えられています。

その後、藩主利位は、京都所司代、老中へと昇進しますが、弘化元年（1844年）、江戸城本丸御殿が火災で焼失、老中を辞任。泉石も、弘化3年、62歳で家老を免職され、古河へ戻って隠居することとなります。

ところで、泉石のさまざまな情報収集は、彼の学問の分野にその成果を残しました。藩主土井利位が著した、日本最初の雪の科学書『雪華図説』『続雪華図説』の刊行においては、その補佐をして、『雪華図説』では跋文を寄せています。また、嘉永2年（1849年）には、日本最初のオランダ地図「新訳和蘭国全図」を完成させ、翌年刊行にいたりしました。泉石はこの地図において、これまで蓄積した知識に加え、海外で発行されていた地理書によって地形を整え、ヨーロッパの歴史と状況を記しています。

隠居後の泉石は、古河の屋敷を拠点に、ときおり江戸へ出ては、海外情報を収集し、あらたな文物に触れていたようですが、古河へ戻って十数年、安政5年（1858年）の7月、74歳の生涯を終えました。墓所は、市内横山町三丁目の正麟寺にあり、古河市指定史跡となっています。泉石の記した日記や地図など3,500点余りは、「鷹見泉石関係資料」として、国の重要文化財に指定され、歴史博物館に保管・展示されています。なお、古河に戻ってからの隠居屋敷については、平成2年に解体修理の上、一部改修を行い「鷹見泉石記念館」として開館しておりますので、もしお近くまでお越しの際には、是非見学をしてみたいはいかがでしょうか。

（広報委員 秋山 和彦）



模本
鷹見泉石像（部分）

編集後記

新しい古河市が誕生して20年が過ぎました。古河市行政自治会は、古河地区の自治会連合会、総和・三和地区区長会が平成23年3月31日に解散、4月1日からスタートしました。

これまで、第1地区から第20地区の紹介、市内歴史散歩、行政自治会行事、地域の話等、様々な記事を掲載してきました。

これからも、明るく住みよいまちづくりをめざし、情報提供をしていきますのでご支援ください。（広報委員長 長濱 忍）

行政自治会広報委員会

委員長	長濱	忍		
委員	秋山	和彦	関	一郎
	小野	等	船橋	敏夫
	鎌仲	英俊	湯本	亨
	関根	徹	梅津	信男
	永井	行男		

